

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	べと病	茎疫病	紫斑病	菌核病	苗木枯病	灰色かび病	炭疽病	葉焼病	赤かび病	さび病	うどんこ病	莢汚損症	斑点細菌病
Zボルドー粉DL	M1		-	-		◎											
撒粉ボルドー粉DL	M1		-	-	◎	◎	◎					◎					
トップジンM水㊟	1		7	3				◎									
ベンレート水㊟	1		30	3			◎	◎									
アフエツトFL	7		1	3				◎		◎				◎	◎		
アミスター20FL	11		1	3	◎												
ファンタジスタ顆水	11		1	3			◎	◎		◎							
ライメイFL	21		3	3	◎	◎											
ランマンFL	21		3	3	◎	◎											
セイビアーFL20	12		1	3									◎				
ロブラール水	2		30	3				◎		◎							
レーバスFL	40		7	3	◎	◎											
バリダシン液5	U18		7	3								◎					
ゲッター水㊟	1・10		7	3			◎										◎
ニマイパー水㊟	1・10		30	3			◎	◎		◎	◎						
フェスティバルC水	40・M1		1	3	◎	◎						◎					◎

㊟:チオファネートメチル含有剤 ㊟:ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での㊟は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。*a:播種前

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア	コ	カ	ア	タ	ハ	マ	ツ	ア	ウ	シ	ウ	オ	ヨ	ネ	コ	マ	コ	ハ	ダ					
						ブ	ナ	ザ	ダ	ハ	マ	ツ	ア	ウ	シ	ウ	オ	ヨ	ネ	コ	マ	コ	ハ	ダ	イ	ス	ト	セ	ン	チ
バイデートL粒	1A	劇	*e	1																						◎				
オルトラン水	1B		21	3		◎																								
オルトラン粒	1B		21	3																										
カルホス粉	1B		*a	1						◎																				
			*c	1																										
			*d	1																										
		劇	*a	1							◎																			
カルホス微粒F	1B	劇	*c	1																										
スミチオン乳	1B		21	4		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎															
ダイアジノン粒5	1B		30	5					◎																					
			30	4				◎	◎	◎	◎				◎															
ダイアジノン粒10	1B	劇	*a	1						◎																				
			30	5																										
ネキリエースK粒	1B		21	2																										
ネマキック粒	1B		*e	1																							◎			
キラップFL	2B		7	2				◎																						
アグロスリン乳	3A	劇	7	3				◎				◎															◎			
アディオン乳	3A		1	3		◎		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎									◎			
トレボン乳	3A		14	2				◎		◎	◎	◎		◎	◎												◎			
トレボンMC	3A		14	2				◎			◎																◎			
ベイオブME液	3A	劇	7	3		◎					◎																			
アクタラ顆溶	4A		7	2				◎																						
アドマイヤー1粒	4A		*a	1		△	◎																							
			*f	1			◎																							
アルバリン顆溶	4A		7	2		◎		◎			◎	◎															◎			
スタークル顆溶	4A					◎		◎																			◎			
アルバリン粒	4A		*a	1																							◎			
スタークル粒	4A																										◎			
ダントツ溶	4A		1	3		◎		◎				◎															◎			
ダントツ粒	4A		*a	1		◎																								
モスピラン顆溶	4A	劇	7	3		◎	◎	◎	◎			◎															◎			
モスピラン粒	4A		*f	1		◎																								
エクシードFL	4C		1	2				◎																						

エダマメ

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

薬剤名	作用機 構分 類 コ ー ド	人	使	使	使	ア	コ	カ	ア	タ	ハ	マ	ツ	ア	ウ	シ	ウ	オ	ヨ	ネ	コ	フ	ハ	ダ		
		畜	用	用	用	ブ	ナ	ガ	ア	タ	ハ	マ	ツ	ア	ウ	シ	ウ	オ	ヨ	ネ	コ	フ	ハ	ダ	イ	
		毒	時	用	用	ラ	ナ	ガ	ア	タ	ハ	マ	ツ	ア	ウ	シ	ウ	オ	ヨ	ネ	コ	フ	ハ	ダ	イ	
		性	期	用	用	ム	ジ	ミ	ウ	バ	エ	サ	リ	ク	サ	メ	キ	ノ	メ	イ	シ	ロ	イ	チ	モ	
			(回	条	シ	ミ	シ	マ	エ	バ	マ	バ	エ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ
			日	数		ミ	シ	マ	エ	バ	マ	バ	エ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	
			数	件	類	類	類	類	エ	類	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	ガ	
アニキ乳	6		1	3																						
アフーム乳	6		3	2																						
ニッソラン水	10A		21	2																					◎	
コテツFL	13		1	2																				◎	◎	
アタブロン乳	15		14	2														◎								
カスケード乳	15		1	2				◎							◎											
ノーモルト乳	15		14	2																						
マッチ乳	15		1	2																						
マトリックFL	18		1	3																						
サンマイトFL	21A	劇	14	1			◎																			
トルネードエースDF	22A		7	2																						
ファイントリムDF	22A		7	2																						
アクセルFL	22B		1	3																					◎	
アクセルベイト	22B		1	3																					◎	
フェニックス顆水	28		1	3									◎												◎	
フェニックスFL	28		1	3									◎		◎				◎		◎					
プレバソソFL5	28		3	3									◎		◎				◎		◎					
ベネビアOD	28		1	3	◎								◎													
ヨーバルFL	28		1	3									◎	◎		◎									◎	
ウララDF	29		7	2	◎																					
グレーシア乳	30		1	2				◎				◎	◎		◎				◎		◎				◎	
プロフレアSC	30		1	3						◎		◎	◎		◎				◎		◎				◎	
ミネクトエクストラSC	28・15		1	2				◎				◎														

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの培土に均一に混和する。
 *a:播種時 *b:播種前 *c:定植時 *d:播種時～本葉2葉期 *e:播種又は定植前
 *f:播種時又は定植時
 ハ:ハスモンヨトウ シ:ハスモンヨトウとシロイチモジヨトウ

エ
ダ
マ
メ

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

主要病害虫発消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 普通				—	—	—	—	—				
害虫 灰色かび病				—	—	—	—					
害虫 アブラムシ類 シロイチモジ マダラメイガ						—	—	—				
害虫 カメムシ類							—	—				

作 型 — ; 栽培期 — ; 収穫期
 病害虫発消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	播種前	・連作を避ける。	本葉発生後まもなく発生するが、特に6月以降に降雨が続く年に多い。 ダイズのほかツルマメに発生する。
	生育期	1. 敷きわらを行う。 2. 密植を避け、通風をよくする。 3. 施肥に注意し窒素過多にならないように注意する。 4. 発生を認めたら次の薬剤を散布する。 ランマンフロアブル 1000~2000倍	
菌核病・灰色かび病	生育期	1. 施設では過湿に注意する。 2. 発病株は除去する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフエットフロアブル 2000倍 ロブラール水和剤 1000倍	
紫斑病	播種前	・健全種子を使用する。	開花結実期に高温多湿条件になると多発する。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ゲッター水和剤① 1500倍	
黒根腐病	播種前	・連作を避ける。また、排水を良好にする。	
モザイク病	播種前	・健全種子を使用する。	種子およびアブラムシによって伝染する。
	生育期	1. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 2. 発病株は除去する。	
アブラムシ類	播種時	・次の薬剤を播溝土壌混和する。 モスピラン粒剤 3kg/10a	5~6月に発生が多い。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000~4000倍 スミチオン乳剤 1000~2000倍	

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイトフロアブル 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	
カメムシ類	稚莢期 ～莢肥大期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤 2000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 スミチオン乳剤 1000倍	
タネバエ	播種時	・次の薬剤を作条施用し、土壌混和する。 カルホス粉剤 4～6kg/10 a	有機質肥料、未熟堆肥などを多用すると発生が多い。
マメシロイデ	稚莢期 ～莢肥大期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 1000～1500倍 プレバゾンフロアブル5 4000倍	
シロイデ モジマダ ラメイガ	稚莢期 ～莢肥大期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	
ハスモン ヨトウ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 エコマスターBT* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 トルネードエースDF 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000倍	*野菜類での登録
ハダニ類	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダニトロンフロアブル* 1000～2000倍 マラソン乳剤* 1000～3000倍	*豆類(未成熟)での登録
ダイズシ ストセン チュウ	播種または 定植前	1. 連作を避ける。 2. 対抗植物を栽培する。 3. 抵抗性品種を導入する。 4. 播種前に土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 5. 次の薬剤のいずれかを全面土壌混和する。 バイデートL粒剤 30kg/10 a	
その他の病害虫		ケラ、マメハンミョウ	